

小学校との交流

京都大学では、昨年度に環境報告書2006の表紙募集を行い、学内外から多くの作品応募がありました。そんな中、近隣にあります小学校の児童56名から作品をいただいたことから、小学校との交流が始まりました。

■小学校から頂いたプレゼント

小学生からいただいた作品は、京都大学環境報告書2006の本文中に掲載したところ、児童の皆さんから大変喜ばれ、そのお礼として、ペットボトルを活用したペン立てとお手紙をいただきました。

参考1：京都大学環境報告書HP>NEWS (<http://www.kyoto-u.ac.jp/kankyo/report.html>)



小学校から頂いたペン立て

■「京都大学環境報告書2006」発行記念シンポジウム 感謝セレモニー参加

感謝セレモニーは、環境報告書作成にご協力頂いた方に感謝の意を込めたメッセージを送ることを目的として、「京都大学環境報告書2006」発行記念シンポジウムと同時に開催しました。大寫幸一郎京都大学環境報告書ワーキンググループ代表から児童の皆さんへ感謝の意を表すとともに感謝状を贈呈し、児童からは合唱とリコーダーの演奏が披露されました。



感謝セレモニーにて、京都市立第四錦林小学校4年生児童による演奏の様様

京都大学環境報告書2006が2つの賞を受賞

環境配慮促進法の施行を受け、学内外関係者の協力を得て京都大学として初めて発行した「京都大学環境報告書2006」は、以下のような賞をいただくことができました。

- 環境コミュニケーション大賞(環境省など主催) 優秀賞(環境配慮促進法特定事業者賞)
- 環境報告書賞(グリーンリポーティングフォーラムなど主催) 公共部門賞

各賞の講評においては、データの公開やステークホルダー委員会設置の取り組み等が評価される一方、具体的な数値化された目標活動計画や全学的マネジメント体制の不足等が指摘されました。

これらの指摘をできる限り活かしながら、今後も環境報告書の作成をはじめ、環境マネジメントシステム構築に注力していきたいと考えています。



表彰を受ける齋藤環境安全衛生部長